

運動施設も着々

新習志野キャンパスの茜浜運動施設内に多目的屋内練習場を新設する工事が着々と進み、全容が現れてきた。教育環境を整備するとともに、課外活動を支援しようと計

画された。今春の地鎮祭(4月22日)以来、建設が進められてきた。外構工事はほぼ終わり、現在、屋内を整備中。12月からの運用が待たれている。



屋内練習場やコート

多目的屋内練習場はばかり。
ベット面積約2300平方
メートル。高さを生かした屋内
練習場のほか、更衣室や

ミーティングルームなど
で構成される。練習場には人工芝が張られ、体育の授業で使うテニスコート

などを整備した。また、課外活動としてゴル

技術者育成で協力

本学と都産技研連携協定を締結

本学と地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）片岡正俊理事長は9月30日、産学公連携事業に係る情報の交換協定を締結した。連携内容は△産学公連携事業等における相互協力▽研究交流を含む人材交流▽その他、協議に基づく事業など。都産技研は、都が中小



協定を交わし握手する瀬戸熊理事長（左）と片岡都産技研理事長

取引交わした。締結式は都産技研本部事務長、宮川博光常務理事が出席して、片岡都



本学と株式会社千葉銀行（佐久間英利頭取）は、津田沼キャンパス内に従業員向け事業所内保育所「千葉工大ひまわり保育園（仮称）」を開設することになり9月8日、女性のキャリア支援に限らず男女教職員らの任

務と家庭の両立を支援するため、開設は平成27年3月を予定。運営は保育サービスに実績のある株式会社ボビンズ（東京都渋谷区）に委託する。

保育園は津田沼校舎4号館2階（床面積約253平方メートル）に設置。生後2ヵ月から小学校就学前の乳幼児を当面、20人（本学教職員関係5人、千葉銀行・ちばぎんグループ従業員関係15人）受け入れる。

利用は平日午前8時から午後7時まで、前後1時間の延長や一時保育も受け付ける。千葉銀行も同様の構想

本学と千葉銀仕事と家庭両立支援

を進めていることが分かり、想定規模や場所が合致したため、共同開設となつた。

保育所 共同開設へ



千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号

TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回（8月を除く）15日発行

ニュースガイド

- 2面 秋季入学、大学院で開始／実験動物慰靈祭／及川さん優秀ポスター発表者賞／飯島さん優秀プレゼン賞／優秀発表者に坂本君、池田君
3面 中山君が書道で記念特別大賞／「サマソニ、歩道橋を彩る／菅助教が「注目講演」／茜浜でフラッグフット全国大会9月オープンキャンパス／チバニーグッズ第1弾販売／受験生応援キャンペーンに参加／ふれあい盆踊りに参加



学生寮の南側に姿を現した野球場やフットサルコート

フ部や野球部などが利用でき、ピッチングレンジやバッティングマシンも常設される。今後、天候に左右されず運動できる環境が整った。一方、学生寮南側にも、広大な敷地を生かして野球場、テニスコート、フットサルコートなどの整備が進む。年間を通して快適に体を動かせる場が広がり、大学生生活の充実が期待されている。

維新～工大開化の刻

津田沼祭 11月21～23日開催





建築都市環境学専攻の及川大輔さん(修士2年)・望月悦子研究室(写真が、26年度(第47回))は、照明学会全国大会(9月4~6日、さいたま市桜区の埼玉大で開催)で「オフィス執務室の着席状況と離席時の消灯による省エネルギー効果」を発表し、優秀ポスター発表賞を受賞した。及川さんは、自然光や人工光源の視環境を扱う望月悦子教授の研究室で、オフィス照明の省エネと快適性を両立させようとして研究している。パーソナルスイッチなどで執務者の着席、離席感想を語った。

及川さん 優秀ポスター発表者賞

照明学会 オフィス照明を検証

消灯を徹底することで、さらに省エネできないか。独自の着座センサ(圧力検知)を使って着席・離席と点灯・消灯の関係を、秒単位で詳細なグラフにまとめ、検証結果を発表した。

及川さんは、自然光や人工光源の視環境を扱う望月悦子教授の研究室で、オフィス照明の省エネと快適性を両立させようとして研究している。パーソナルスイッチなどで執務者の着席、離席感想を語った。

及川大輔さん(修士2年)
・望月悦子研究室(写真が、26年度(第47回))

秋季入学 大学院で開始



初の入学式挙行

期課程に1人が入学した。

小宮一仁学長は式辞で「小さな入学式だが、本学にとっては大きな第一歩だ。第1期生の誇りを持って勉学・研究に励んでください」と述べ、外国からの留学生を受け入れやすい秋季入学制度のスタートに、本学のグローバル化推進を改めて強調した。

実験動物
津田沼で慰靈祭

平成26年度実験動物慰靈祭が9月19日、津田沼キャンパス2号館で執り行われた。
本学の教育・研究活動に貢献した実験動物を供養するため、昨年に続き開かれた。

小宮一仁学長をはじめ教職員・学生約100人が参列。順番に献花し、実験に供された動物たちに感謝と哀悼の意を捧げた。

本学は、科学技術の発展がこれら動物たちの犠牲の上に成り立っている

優秀発表者に電情2人

坂本君、池田君

電気学会への本格アビューチを後押しする「第5回学生研究発表会」(9月1日、工学院大新宿キャンパスで)で、電気電子情報工学科4年の坂本

優秀発表者に選ばれた坂本君(右)と池田君



電気学会東京支部「学生研究発表会」



飯島さん 優秀プレゼン賞

楽団向け電子譜面システム提案

大学院で電気電子情報研究室(写真)が情報処理学会「マルチメディアア、分散、協調とモバイル(DICOMO2014シンポジウム)」(7月9~11日、新潟県新発田市月岡温泉のホテルで開催)で「楽団向け電子譜面システムのための演奏者モデルと代表端末選定アルゴリズムの提案と試作」を発表し、優秀プレゼンテーション賞を受

ことを再認識し、今後も強い倫理観を持って教育することにしている。

iPadなどタブレット端末の普及に伴い、音楽譜面は紙に比べ劣化され、演奏者の負担が軽くなるよう工夫される。だが現状では、電子機能の多くは個人使用を想定して開発され、楽団使用には向かない。

飯島さんは、タブレット型端末の特性を生かし、吹奏楽団での譜めくり作業の負担軽減に着目。楽団全体での譜めくり回数を、代表端末を決定して譜めくりを集約することと減らす方法を提

賞した。

iPadアプリの開発には慣れで、どうやって楽団と演奏者に使い勝手がよく、ロバスト性(外的要因による変化を内部で阻止する仕組みや性能)の高いアプリを構成するのに苦心したが、今は野准教授や企業の方々の協力でアプリを完成、実際に取り組みたい」とい

ました。今後も精力的に研究に取り組みたい」とい

う。

飯島さんは、「受賞は大変光榮です。学会でさまざまな方の講演を聞くことができ、勉強になりました。今後も精力的に研究に取り組みたい」と感想を語った。

坂本君は、「内容が評価され、大変うれしかった」と語った。

図説して発表した。多量のデータを整理したり、今後の研究の進め方を決めるのに苦心したといふ。

坂本君は、「数ヶ月かけて工夫を重ねた資料が評価され、素直にうれしい。頑張る活力になりました」と語った。

これらを分かりやすく

今後も、電荷移動の過

程などが考慮された精密

装置の空間分解能と電流

分解能(最小電流値)を

観測。測定電流値が大き

いほど画像が鮮明にな

り、測定範囲を回転させ

数回測定することで、よ

り精密な電流路を観測で

きると考えられることな

どを確かめた。

今後も、電荷移動の過

程などが考慮された精密

装置の構築へ、研究を進める。

図示スライドの構成で

本番ぎりぎりまで悩んだ。新しく開発された装

置なので、原理の説明に

時間がかかり、発表が時

間に収まるように、ま

とめるが大変だったとい

う。

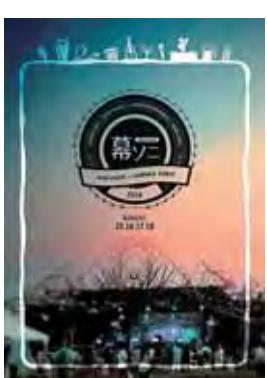
池田君は、「内容が評価され、大変うれしかった」と語った。



歩道橋に飾られたロゴ入りバルーン



デザイン科学科の参加者たち



(略称サマソニ) 8月
16、17日、幕張新都心で
開催) で、今年もデザイン
科学科の院生・学生の
来場者10万人を超す夏
の都市型ロック・フェス
ティバル「SUMMER
SONIC 2014」
地元が歓迎し、音楽祭を
盛り上げるのが狙い。本
学は一昨年から参加し、
希望者12人が開催日を挟
む4日間、会場へ続く歩
道橋をバルーンで飾っ
た。

16
16、17日、幕張新都心で
開催) で、今年もデザイン
科学科の院生・学生の
来場者10万人を超す夏
の都市型ロック・フェス
ティバル「SUMMER
SONIC 2014」
(略称サマソニ) 8月
16、17日、幕張新都心で
開催) で、今年もデザイ
ン科学科の院生・学生の
来場者10万人を超す夏
の都市型ロック・フェス
ティバル「SUMMER
SONIC 2014」

音楽祭を訪れる人々を
喜ばれている。今年も県と千葉市、サ
マソニ側から依頼を受け
て喜ばれている。
マソニ側から依頼を受け受け
て喜ばれている。
マソニ側から依頼を受け受け
て喜ばれている。

普段はビジネス色が強い
幕張の歩道を、塩ビ・シ
ートのバルーンで華やか
な非日常空間に一変させ
て喜ばれている。

今年も県と千葉市、サ
マソニ側から依頼を受け受け
て喜ばれている。

長尾徹教授の指導で
「SUMMER SONIC」と、
CX千葉工業大学」と、
オリジナルのロゴシール
を貼ったバルーンで立体
歩道橋を彩った。

小田裕和さん(修士2
年)は、サマソニのパン
フレットの表紙) 写真左
左) 飲食ブース(賑わ
た) 多数出店し

「サマソニ」歩道橋を彩る デザイン有志、今年も



中山君とその作品

建築都市環境学科の中
山晃一君(3年)が、全
国学生書写書道展(9月
28日、東京都千代田区)
別大賞を受賞した。



「夫人尉遲為亡」
3月で始まる11字に挑
み、8月下旬に応募。公
募・大学生の部には7点
が出品されたが、文部科
学大臣賞に次ぐ学生ナン
バー2の賞に選ばれた。

所属同好会の書道俱楽

中国・南北朝時代(4
39~589年)に龍門
洞窟内に刻まれた六朝楷
書を代表する書「造像
記」から「夫人尉遲為亡」
で素晴らしくできたと

中山君の話 全国大会
で素晴らしい受賞ができ
て、とてもうれしい。夏
に、海外で書道を教える
機会があり、子どもたち
が手を真っ黒にしながら
樂しそうに書に触れてい
るのを見て、書道文化は
部は発足後、日が浅い。
受賞で、俱楽部活動に活
気を呼ぶことができたと
喜んでいる。

書写書道で記念特別大賞 建都・中山君 「造像記」に挑む

思った以上に海外で関心
を持たれている感じま
すこれからも続けたいと

菅助教が「注目講演」

した。古来の文化「書道
」をこれからも続けたいと
思います。

高温ナノ領域でのスイッチ効果

抗変化効果」が選ばれ
た。応用物理学会は、講演
研究を選定して受講を



西浜で「全国大会」

6大学参加

予定論文の中から特に学
術的・社会的に注目され
る研究を選定して受講を

会費下支えした。

*

競技は初日の9月2日
が大学対抗戦。参加15チ
ームが5ブロックに分か
れて総当たりのリーグ戦
を行い、各ブロックの首
位チームによるトーナメ
ント戦で順位を決めた。
結果は優勝が筑波大
学。

フラッグフットボール
を授業に取り入れている
6大学の学生が集まって
日ごろの教育効果をグラ
ウンドで発揮する「大学
体育FF全国大会」(実
行委員長) 松元剛・筑波
大准教授) が9月2、3
日、新習志野キャンパス
西浜運動施設で開かれ
た。

昨年に続き2回目で、
参加したのは、筑波大、
流通経済大、東京医科歯
科大、麗澤大、東京藝術
大。本学からは教養科目
の「集中スポーツ科学」
を受講している33人が正
規授業の一環として競技
に参加した。

テム科学部の加藤和彦准
教授が運営委員として大
学のチームには、公益財
団法人日本フラッグフッ
トボール協会から表彰状
が贈られた。

筑波大2、麗澤大、流通
経済大、医科歯科大各1
人) チームには、公益財
団法人日本フラッグフッ
トボール協会から表彰状
が贈られた。

タックルの代わりに腰
に付けたフラッグを奪い
合うフラッグフットボリー
ルは「身体接触のないア
メリカンフットボール」
とも言われている。

このスポーツを大学教
育に取り入れることの効
果については、①体格や
性別、競技経験などの個
人差に関係なく、だれで
も参加できる②参加者全
員が役割をもち、それを
達成する責任を負うこと
から責任感や協調性を育
て、コミュニケーション能
力を高めることにつな
がるものさまざま
な教育効果が期待されて
いる。

今大会では、社会シス
テム科学部プロジェクト隊
マネジメント学科・加藤
研究室の3年生12人が、
ゼミの一環として会場設
置などをサポートした。
この12人は今年5月か
ら、習志野市が本拠地の
社会人アメリカンフット
ボールチーム「オービッ
クシーガルズ」の支援を
行っていました。

9月23日に行われた
「シーガルズ」にとつて
年1度のホーム公式
戦、対「オール三菱ライ
オンズ」戦(秋津サッカ
ー場)をピックアップし
て、試合当日のファンサ
ラリーの特製Tシャツを
着て、地元の夏祭り会場
や商店街に出向きチケッ
トやグッズを販売した
り、試合当日のファンサ
ラリーの特製Tシャツを
着て、地元の夏祭り会場
や商店街に出向きチケッ
トやグッズを販売した
り、試合当日のファンサ
ラリーの特製Tシャツを
着て、地元の夏祭り会場
や商店街に出向きチケッ
トやグッズを販売した
たり、活動は多岐にわ
たった。

FF全国大会でのサポ
ートもこうした活動と合
った。

競技を終えて参加者全員で記念撮影



9月3日
は、参加6
大学の学生
が前日同
様、リーグ
戦による予
選と、首位
選と、首位
によるト
ナメント戦
を行った。
優勝した
「みんな大
好きエビフ
ライ」(千
葉工業大3、

内外の有名ア
ーティストが
多数出演し
た。英ロック
バンド「クイ
ーン」など國
内での有名ア
ーティストが
本部活動に活躍。
教員セ
ンターの森田啓教授、谷
合行准教授と社会シス
ト

制御技術が、今後の技術
革新している。
菅助教の研究は、白金
で作られたナノギャップ
電極のスイッチ効果につ
いて、既存の半導体素
子が機能しない高温環境
下(600°C)でも機能
する可能性を明らかにし
た。投稿4057件中「注
目講演」はわずか19件だ
った。

菅助教の研究は、白金
で作られたナノギャップ
電極のスイッチ効果につ
いて、既存の半導体素
子が機能しない高温環境
下(600°C)でも機能
する可能性を明らかにし
た。投稿4057件中「注
目講演」はわずか19件だ
った。

